

## 平成 25 年度鳥取県東部沿岸土砂管理協議会意見に対する対応状況

### ○主な意見とその対応状況

委員からの意見	対応状況
<b>【千代川右岸漂砂系】</b>	
(鳥取大学：黒岩委員) 4k500 地点について、西から東向きの漂砂とは一概に言えない。状況によって東向き、西向きとなると思うので、局所的に注視して欲しい。	(鳥取県土整備事務所) 海浜状況、時期を踏まえて、引き続きサンドリサイクルを実施していく。
<b>【気高海岸（浜村海岸）】</b>	
(鳥取大学：黒岩委員) 船磯漁港の維持浚渫について、気高海岸漂砂系の中に含まれているので、急激な異常堆砂等注視が必要である。	(鳥取市) 今年度、通常の維持浚渫に加え、ポケット（余掘）浚渫を行って対応したところ。現在、昨年のような異常堆砂は見受けられない状況である。 引き続き、定期的に深浅測量を行い、堆砂状況を確認するとともに、維持浚渫及びサンドリサイクルを実施していく。
<b>【全体】</b>	
(鳥取大学：黒岩委員) 現在の海浜の評価手法は、過去からの汀線変動量を基本として評価しているが、ベースとなっている過去の汀線が本当に良好なものであるか不明であり、海浜の評価方法として、信頼性が薄い。現在の海浜を的確に評価できる基準が必要であり、「目安とする浜幅」を設定すべき。	(河川課) 今年度、「目安とする浜幅」の検討を実施しており、H26 年度の調整会議で提示。
<b>【土砂管理計画の点検】</b>	
(鳥取大学：松原委員) 千代川河口からの供給土砂が計画に比べ、少ない状況である以上、長期的には海岸域の土砂が少なくなるため、漂砂系外の土砂利用や河川中上流域における対策が必要。	(鳥取河川国道事務所、河川課、鳥取県土整備事務所) 千代川河床掘削土の土砂利用を検討しているところ。現状の海浜砂より粒径が大きいため、地元調整を図る予定。
(鳥取大学：黒岩委員) 千代川河口から供給される土砂が減っている現状を考慮して、必要となる漂砂系外からの土砂供給が把握できる精度の高い土砂管理計画の再構築が必要と考える。 ※そのためには、高精度な測量が必要となる。	(河川課) 漂砂系外からの土砂供給を前提とした土砂管理計画の策定は、当面考えていませんが、経年的な海浜安定を図るための今後の検討課題として考えている。